

令和4年度 練馬区食育推進ネットワーク会議(第8期)第1回会議要録

- 1 開催日時
令和4年7月8日(金)午後2時～4時
- 2 開催場所
練馬区役所本庁舎 地下多目的会議室
- 3 出席者
委員長 健康部長
副委員長 健康部健康推進課長
委員 開田委員、小林委員、檀上委員、堀委員
金野委員、高野委員、秋本委員
幹事 都市農業課農業振興係長、清掃リサイクル課清掃事業係長、
保健給食課学校給食係長、保育課保育所給食係長
生活衛生課食品衛生担当係長、健康推進課健康づくり係長、
健康推進課歯科保健担当係長
事務局職員 健康推進課栄養食育係2名、光が丘保健相談所栄養担当係、
石神井保健相談所栄養担当係長
欠席委員 加藤委員、戸田委員、岡野委員、足立委員、頓所委員、北村委員
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者数 0名
- 6 配付資料
資料1-1 練馬区食育推進ネットワーク会議(第8期)委員名簿
資料1-2 練馬区食育推進ネットワーク会議(第8期)幹事名簿
資料2 令和4年度 練馬区健康推進課 Instagramについて
資料3 若い世代への食育の取組について
資料4-1 ねりまの食育応援店事業について
資料4-2 ねりまの食育応援店登録店舗一覧(令和4年6月末日現在)
資料5 練馬区食育推進ネットワーク会議(第8期)2年目 スケジュール案
- 7 会議要録
<全体会 開会>
(委員長) 今年度第1回目になります、練馬区食育推進ネットワーク会議を始めさせていただきます。
会議に先立ちましてお願いがございます。本会議は練馬区の付属機関等の会議の公開および区民公募に関する指針によりまして、原則として公開し、傍聴も可能としています。また、会議録は要点記録として公開いたしますので、録音をさせていただいております。ご了承のほどよろしく願いいたします。

なお、会議録は、発言者の名前は特定せずに委員長、委員と表記をさせていただきます。

それでは、改めまして令和4年度第1回練馬区食育推進ネットワーク会議を始めさせていただきます。本日はご多忙のところご出席をいただきましてありがとうございます。昨年度はコロナの関係でなかなか対面での会議を進めることが出来ませんでした。今回は対面形式で開催させていただきます。

それでは、次第に入らせていただきたいと思います。僭越でございますが、委員長、副委員長の挨拶から始めさせていただきます。

この会議でございますけれども、練馬区の進める食育を推進し、区民や事業者の皆さんのご意見を反映させながら、双方が連携して取り組みを進めるために平成19年から設立しています。長きに渡り、これまで皆様方からいただいたご意見、アイデアを検討いたしまして、「ねりまの食育応援店」や「ちゃんごはんプロジェクト」といった事業を立ち上げ、冊子などを作りながら、様々な形で今も引き継がれております。昨今はコロナ禍で、いわゆるおうち時間が増え、食事ですとか食育の重要性が増してきているのではないかと感じております。今後も皆さんと一緒に食育の推進を連携しながら進めていければと切に願っているところでございます。どうぞよろしく願いいたします。次に副委員長のご挨拶になります。健康推進課長お願いします。

(副委員長) 改めまして皆さんこんにちは。今年度から健康推進課長を務めております。私は前にワクチン接種の担当課長をしておりまして、区内のワクチン体制を整えておりました。関連するところという事もあり、健康推進課長となりました。区の健康事業を一手に担うような部署で、食育については、この会議に参加させていただいております。練馬区の特徴としましては、23区で最大の農地があります。そして、身近に農業を感じ、野菜の育ちを見ながら子ども達はいろいろと発見、学びを行っているところです。こう言った練馬区の特徴を生かした食育事業を今後も進めて参りたいと考えております。また、皆様のご意見をいただき、ぜひ事業の方に反映させていただきたいと思っております。今日はどうぞよろしく願いいたします。

(委員長) それでは次第を進めさせていただきます。2 委員・幹事紹介になります。委員の皆様、昨年度から引き続きお願いしておりますが、お名前だけおひとりずつお願いしたいと存じます。

委員・幹事紹介 資料1-1および1-2のとおり

(委員長) ありがとうございます。それでは3 案件に入りたいと思います。1) 令

和3年度練馬区食育推進ネットワーク会議の活動報告についてでございます。説明をお願いします。

(事務局) 資料2の説明

(委員長) ありがとうございます。では練馬区健康推進課 Instagram に関しまして説明をさせていただきました。この件につきましてご質問ご意見ございましたらお願いしたいと存じますがよろしいでしょうか。

この後、イ、ウの取り組みを説明させていただいて、またご意見をいただきたいと思っておりますので、その時にもしご質問があれば合わせてお願いしたいと思っております。では進めさせていただきました、イの若い世代の食育取組についてとウのねりまの食育応援店事業の2つにつきまして、続けてご説明をさせていただきます。事務局をお願いします。

(事務局) 資料3、4-1、4-2の説明

(委員長) ありがとうございます。今、練馬区健康推進課 Instagram、若い世代への食育の取組、それとねりまの食育応援店の事業ということで三つ説明をさせていただきました。特に大きな動きを見せているのは若い世代への食育の取組ということで、管理栄養士を目指す学生と一緒にいろいろと考えているというご報告をさせていただきました。また、Instagram、食育応援店事業の説明もさせていただきました。委員の皆さんには今後の展開に期待したいこと、またこういったことを取り組んだらどうだろうかというようなことをご意見ございましたら頂戴したいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(委員) 前回からずいぶん経ってしまったので、私の方の意識もかなり下がってまいりました。実は、食育に関することも具体的なことを特にしていなくて、今回出てきてお役に立てるかなというところなのですが、Instagramは見させていただいています。今、家族の食事を作るということがひとつ趣味といいますか、励みになっていて、若い人と一緒に、それぞれが作って一緒に食事をするということを、夕ご飯でしています。バランスの取れた食事ということをお互いに考えていて、メインのものをしながら、相手がそれに合わせた食事、献立を作るということで取り組んでいますけど、そういう時に Instagram の今の季節の献立ってというのが参考になったりします。より頻繁にと言っても毎週上げてくださっているもので、これ以上無理だと思うのですが、参考になることだな、と思っています。また、時々区役所に来ることがありますが、週1回は来ているのですが、その時に食に関する掲示物等があればちょっと見たりすることもありますので、用事があって来る人達がそういった掲示物を見て参考にするというのもあればとてもいいかなと思います。

(委員) 何を話そうか迷うのですが、私も普段は一般のお母さんとして、子どもと家族のごはんを作っています。なるべく健康を考えてというか、今の使える食材

を選びながら頑張るのですが、子どもたちは野菜よりもお肉、お肉が出ないとテンション上がらないみたいな、帰ってきて魚の匂いがするとフーンっていう感じの子たちなので、バランス良くって言っても力になるものを考えながら工夫して毎日メニューを作っています。職場まで自転車で通っていて、練馬の野菜の無人販売所によく寄ります。そうすると今の季節の野菜がたくさん出ていて、Instagramとかを見ない方もそこに「今の旬の野菜でこれが作れます」みたいな情報を置くとかして。そうすると、変わった野菜が出ていても、「これ何に使うのだろう」って思っても、その野菜のレシピがあったり、情報に飛んでいくことができれば、ちょっと楽しく野菜が食べられるかなとか思ったりします。ありがとうございます。

(委員) Instagramを若者の人に見てもらうために、たくさん投稿してくださっているのはすごくいいことだなんて思うのですが、でもちょっと言いにくいんですけど、若者に興味を引くためには、インスタ映えっていうか、その投稿を開いてそのアカウントにたどりついてもらうための投稿している人がインスタにはたくさんいて、そっちの方を見てしまう気がして、それよりはやはりレシピにたどり着いてもらうために、ほかの人のもう映えている写真を投稿しているレシピにリンクを繋げるとか、そういうことってできるのですか？

(副委員長) はい。インターネットのところでしたら、いろんなリンクを張るというのはできると思います。ただ、セキュリティの関係があるので、なんでもかんでもというのは難しいので、どういった投稿なのかなっていうのをちょっと調べさせてもらって、我々としても区民の方がうちを仲介していろいろ情報を知ってもらうのはいいことかなと思いますので、ちょっと調べさせていただいてアイデアにさせていただけたらと思います。

(委員) 私は「食は楽しくなければいけない」というのが第一条件だと思って食事を作っています。必ず旬のものは「これもらったよ」というものがあると、トマトのレシピが続いたりします。練馬のInstagramはすごく旬に沿っているので、必ず見るようにはしています。先ほど委員が言われたように、映えも必要です。私は、レシピを探す中で、「簡単」というところがすごくあってと思いますし、「こんな献立はいかがですか」はすごく参考になっていて、主菜はこれ、副菜はこれっていうのもあるので、すごくいいなと思っています。ただハッシュタグが同じような感じなので、もう少しハッシュタグを工夫すれば、もっと幅広く見てもらえる、若者にもヒットするような感じのハッシュタグがあれば、若い人もたどり着くのではないのかなと思います。

(委員) 若い世代が食に関心がないっていうのが課題だと思うのですが、若い人は関心がないというよりは、触れる機会がないっていう人が多いのかなと思っていて、この練馬区がやっているInstagramはすごくいいなと思っているので、

なんかレシピだけじゃなくてもっと興味を引くように、クイズとか写真を工夫するとか、より興味を引くような言葉とかを選んでいくともっと見てもらえるのかなと思いました。

(委員) 何回か会議に出席していて、私たちに何ができるのかなというところを、報告を聞かせていただきながら考えているのですけれど、委員の方々もいろんな団体に所属されていたり、個人で活動されていたりすると思うので、区として取り組んでいることをもっと落とし込んで、私たちが関係しているところで何ができるのか、ということ何かひとつでも次の回までに行動できることを具体的に考えていけたらいいのかなっていうことを思っていました。

Instagramに関しては私もフォローしているのですが、機能的にはストーリーやリールなど動画などの工夫も日々必要に感じます。投稿するだけではなくて、きちんと伝えたい人に伝えられるように、リーチするような工夫がないといけないと思います。もともと何で Instagram を使っているのかっていうところを意識していかないといけないのではないかと。リサーチ的に使う。Instagram ってそうですよね。お店だと宣伝とか分析、ビジネスアカウントに切り替えて、何人がリーチしてっていうような分析ができるので、そういったところも使っていくといいのかなとも思いました。

後はそれぞれちょっと思ったことはあるのですが、たまたまちょっと目についてねりまの食育応援店のヘルシーごはんのお店って、先ほど事務局の説明がありましたが、何でヘルシーごはんのお店だけ登録促進って出ているのですか？

(事務局) 練馬産の野菜のお店や練馬特産のお店というところはだいぶ登録が進んでおりますが、ヘルシーごはんのお店については、なかなか登録が進まないところがあります。また、そういうお店が増えた方が食育という部分でもありがたいということもあって促進をさせていただいております。

(委員) ヘルシーごはんと言うと和食だと思っていたのですが、この一覧表見てみたらラーメンや中華とか、ちょっとイメージではヘルシーじゃないような、単品のお店なんかも〇が付いているので、ちょっと疑問を感じたことがありました。ありがとうございます。以上です。

(委員) この前、学校栄養士とちょっと話をしまして、学校給食の献立で和食系の給食の残菜が多いという話をしていました。洋食系の献立だと子どもはよく食べるし、麺類は残食がととても少ないという傾向があるのですけれど、やはり食べ慣れてないものに対しての関心が薄いついていう所があるようです。栄養だけでなく、食育という意味では、いろんなものを小さいころから食べているってことがすごく大事なことなのだろうなと思います。また、食費が高騰していますので、給食は一食 280 円位で作っていますけど、その一食の単価の中

に収まるように献立をやりくりするっていうのも栄養士にとってはすごく大変なことなのかなと思っています。そういった意味でも学校でもできることを少しずつできたらと思います。ありがとうございました。

(委員長) 引き続き次第を進めさせていただきます。案件2) 令和4年練馬区食育推進ネットワーク会議の2年目スケジュール案です。こちらについて説明をお願いします。

(事務局) 資料5の説明

(委員長) 今後の会議のスケジュールにつきまして、またイベントの関係についてご報告をさせていただいたところです。こちらにつきまして何かご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

続きまして3) その他に移ります。各課の取組でございます。各課食育に関する取組について説明をいただきたいと思います。最初に都市農業課から「アプリ とれたてねりま」について説明をお願いします。

(幹事) チラシを配布させていただいております。先ほど委員からもお話があったように、練馬といえば庭先直売所といったところもありまして、今まで紙のマップを使っていたのですけれども、時代も違うでしょうということで、直売所をGoogle map上にマッピングしたアプリを作りました。マップのピンをタップすればその直売所の情報が写真付きで見られますし、それだけじゃなく、練馬産農産物を使っているお店、飲食店やお菓子屋さんとか、地産地消のお店につきましてもやっぱりGoogle map上をにピンをマッピングしてタップすると店舗が自分でアピールポイントを書いたページに飛ぶようになっています。また、ページは農業者や店舗が自分で登録できる仕組みにしています。よっぽどじゃない限りこちらから口を出すことはしませんので、もちろんよく投稿する方と全くの方がいますが、店舗や農業者の個性というか、性格も見えてなかなか楽しいかなと思っています。意外にご好評いただいています。6月末時点でダウンロード数が8,000。毎日200、300から500ぐらいのアクセス数があるという感じで、結構見ていただいていると思います。

先ほどの食育応援店の関係でいくと、食育応援店にはロゴ(登録証)が出るようになっています。

また、チラシにもありますが、マルシェや収穫体験イベントとかそういった情報もアップしてまして、もちろん区役所がやるイベントもですが、最近は農業者が自分自身でいろんなイベントも自由に投稿していて、アプリでお客さん集めをしていただくという感じでやっております。ちょうど今、キャンペーンをやっています、チラシの下の方にありますが、農産物直売所、飲食店、それからブルーベリーの季節なので、ブルーベリー摘み取り、この3種類(色)のカードをそれぞれの店舗等に置いていただき、その3か所を周って色違い

の3種類のカードを集めたら練馬産の農産物をプレゼントします、というキャンペーンをやっています、引き換え場所をJAの直売所にしてありますので、ついでにほかの農産物を買ってもらえればという感じでやらせていただいております。

アプリは、農業者からも結構好評ですし、それから利用者からも便利だっという声もいただいているので、アクセス数もなかなかいい感じなので、さらに機能を強化して先ほどちょっと話があったインスタの掲載レシピとなども連携できていくと面白いのではないかと話を伺っていて思いました。以上でございます。

(委員長) 続きまして清掃リサイクル課からフードドライブについてお願いします。

(幹事) 清掃リサイクル課です。食品ロスの問題についての啓発を主な目的としてフードドライブ事業を実施しています。平成29年から始まったのですが、この2年間は中止となっていました。今年6月の環境月間からまた再開をしまして、リサイクルセンター4所で実施をいたしました。多くのご協力をいただき、以前の3倍ぐらい今回はお持ちいただいたということをご報告いたします。以上です。

(委員長) それでは、次第の3)その他 各課の取組につきまして最後になってまいりますので、何かこの場で委員の皆様、また幹事の方から何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。

今回は9月20日を予定しております。それでは、本日の練馬区食育推進ネットワーク会議第一部の全体会こちらを閉じさせていただきます。ありがとうございました。